

出雲未来図

市では、市政の指針として、出雲市がめざすべき将来の姿と、それを実現するための基本方策を示す総合振興計画として、新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』を策定し、各施策に取り組んでいます。

平成24年度に策定した『出雲未来図』では、10年後(平成33年度末)における出雲市のめざすべき将来像として基本構想を示しています。その基本構想を実現していくための具体的な施策を示した後期5か年の基本計画(平成29年度～平成33年度)を平成28年度中に策定する予定です。

今回は、平成27年度までの『出雲未来図』の進捗状況と、後期基本計画策定に向けて行った市民満足度調査の結果等をお知らせします。

◆4つの戦略プロジェクトの進捗状況

◎出雲未来図では、市をあげて取り組む4つのテーマを「戦略プロジェクト」として掲げ、特に重点的に取り組んでいます。平成27年度末における戦略プロジェクトの進捗状況は、次のとおりです。

戦略プロジェクト	目標数値の内容	H23年度末実績値	H26年度末実績値	H27年度末実績値	H28年度末目標値	H33年度末目標値
雇用創出 2,000人	正規・自営の新規雇用者数の累計	-	996人	1,256人	700人	2,000人
定住人口キープ 17万人	住民基本台帳人口	174,960人	174,538人	174,957人	17万人台	17万人台
交流人口 1,000万人	観光入込客数	869万人	1,310万人	1,250万人	1,000万人	1,000万人
住みやすさNo.1	住みやすいと感じる人の割合	83.4%	-	87.0%※	87%	90%
	住み続けたいと思う人の割合	82.6%	-	83.5%※	86%	90%

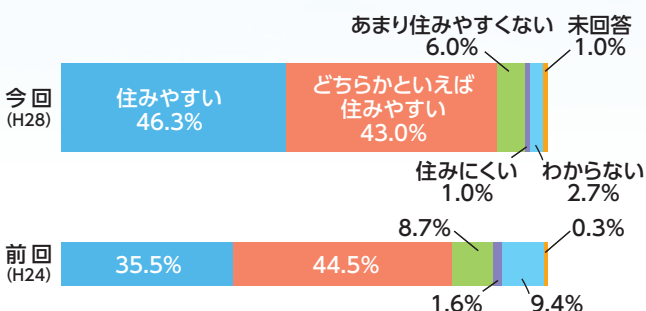
※「住みやすさNo.1」の項目の実績値は、本年6月に行った市民満足度調査によるものです。

このほか、具体的な施策は、施策ごとに身近な数値を用いた指標で数値目標を設定し、進捗状況を管理しています。

◆出雲市のまちづくり高校生アンケート集計結果

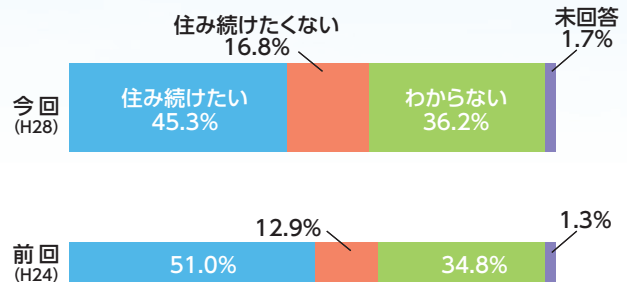
市内の高校8校(1校あたり約40名)の皆さんを対象に、現在の出雲市や将来に対する思いや考えなどのアンケート調査を行い、298名から回答がありました。その結果の一部をお知らせします。

◎出雲市は住みやすいまちだと思いますか。



前回調査に比べ「住みやすい」の回答割合が増加しました。

◎これからも住み続けたいと思いますか。



前回調査に比べ「住み続けたい」の回答割合が減少しました。

げんき、やさしさ、しあわせあふれる 縁結びのまち 出雲

◆平成28年度市民満足度調査の結果

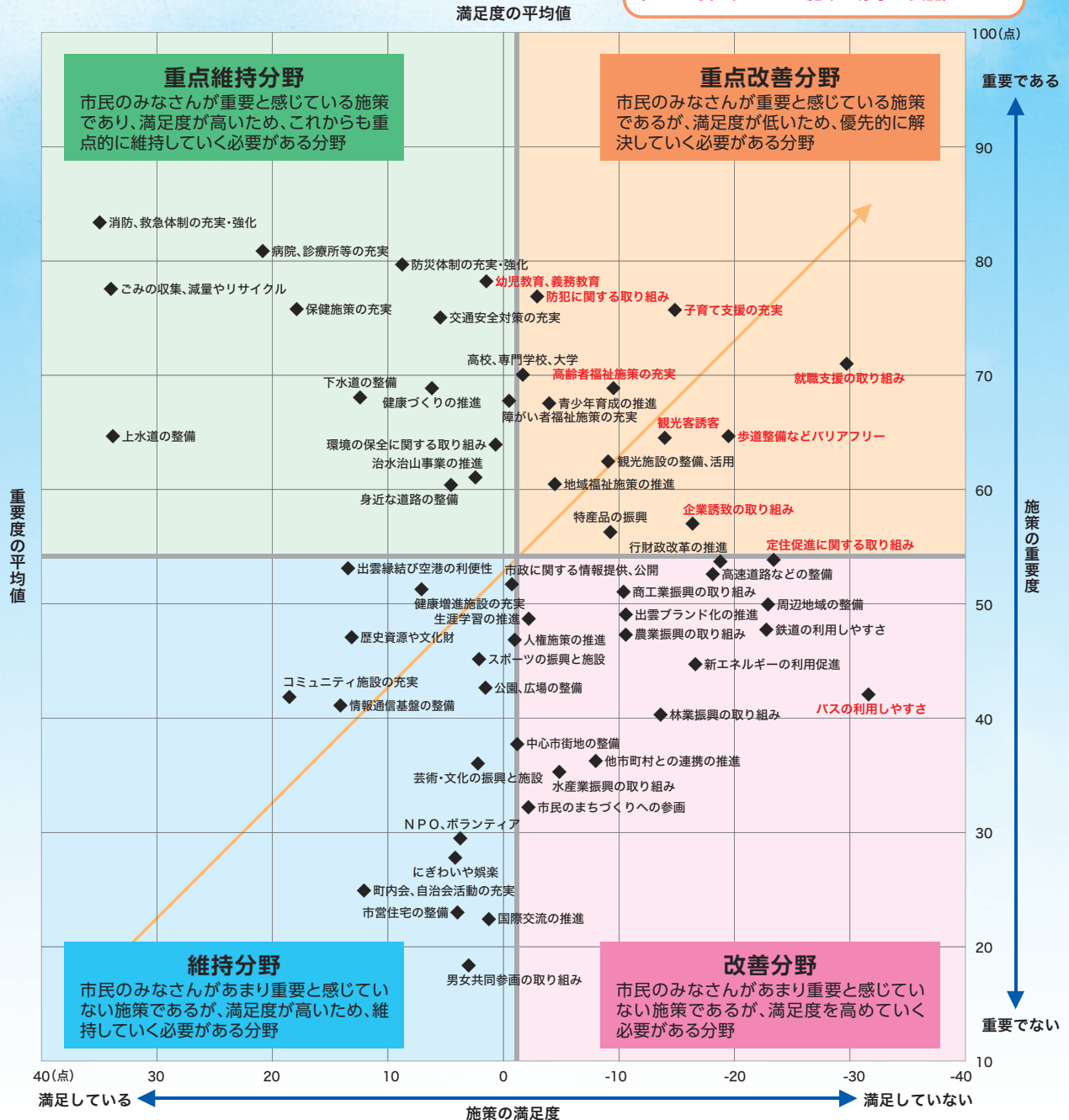
◎「出雲未来図」後期基本計画の策定にあたり、市の施策・取組に対する市民の重要度・満足度を調査する「市民満足度調査」を、本年6月に実施しました。この結果を踏まえ本市の主要な課題を検証し、今後の計画策定に活用します。

調査対象	18歳以上の市民を無作為に抽出
回収状況	送付数：2,800名 回収数：1,203名 回収率：43.0%

■ニーズマップ

市の施策に対する重要度・満足度を得点化し、市民のニーズ度としてグラフに表したものです。* (ニーズ度) = (重要度) - (満足度)

右上に位置する項目ほど市民ニーズが高い
(ニーズ度上位の10の施策を赤字で表記)



前回調査(平成24年6月実施)と比較すると、ニーズ度上位の10の施策はほぼ同じでした。なお、全体的に満足度が微増し、「住みやすい」、「住み続けたい」と感じる人の割合も増加しました。

前期基本計画の進捗状況、市民満足度調査および高校生アンケートの集計結果の詳細は、市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。また、政策企画課・各支所窓口でも閲覧できます。

おたずね／政策企画課 ☎ 21-6612